

多読クラブ会員の皆様へ

書籍追加のお知らせ（2006年10月第2弾）

●イギリスの小学生が読んでいるノンフィクションのリーダーシリーズ 『InfoTrail』から、もっともやさしいレベルのBeginnerを24冊入れました。History, Geography, Scienceの3分野で各8冊、読み上げCD付です。

YLは0.5と設定しました。貸し出しは、なるべく各分野8冊まとめてお願いします(4冊分扱い)。



●What's Up? Intermediate 2006-7 Y.L.:2.6 総語数 5000

●Watching Light 2006-7 Y.L.:1.8 総語数 1800

もともとは高校生向けの副読本として作られているもので、新出語句の日本語訳が載っていたりして、学習っぽい感じがあります。朗読CD付き。わりと新しい身近なトピックが中心なのでわかりやすいはずです。



●Harry Potter and The Goblet of Fire (DVD)

ご存知、ハリーポッターの第4巻のDVDです。これで第1巻から4巻までそろいました。



編集後記「おきて破りの辞書引き」

先日、LLLの色のついたやつ、一番やさしいのを読んでいたら。。。と、この説明でどの本かわかる人はかなりのタドキストです。つまり、ロングマンリテラシーランドの表紙が白っぽいから全面カラーになる最初のレベル、Step7です。LLLは、このStep7から急に難しくなって先に進めないと、皆さんがよくおっしゃいます。で、ふと読み直してみたらどうにもこうにも納得いかない表現に出会いました。The house was at sixes and sevens.というものです。sixとsevenが複数形になっているのが引っかかるくらいで、特に知らない単語はありませんよねー。中1生でも知っている単語ばかりなのに、文の意味が推測すらできない。SSS多読では、知らない単語はとばすのを推奨していますが、こればかりはどうしても無視できなかったので調べました。こういうのを調べるには普通の紙の辞書では困難です。だって、知らない単語が無いわけですから。で、「英辞郎」にat six...まで打ち込んだ時点でスラスラっとat sixes and sevensが表示されてきました。なんと、The house was a mess.と同じような意味なのです。つまり、引っ越してきたばかりで家中に荷物が散乱し、ごちゃごちゃしているという意味だったのです。イギリス英語でよく使われるとのこと。ちなみに「英辞郎」はネット上ならフリーで使用できます。